

広報

# おおず

1994年  
平成6年  
9月臨時増刊号

No 465

発行 大洲市役所 編集 総務財政課

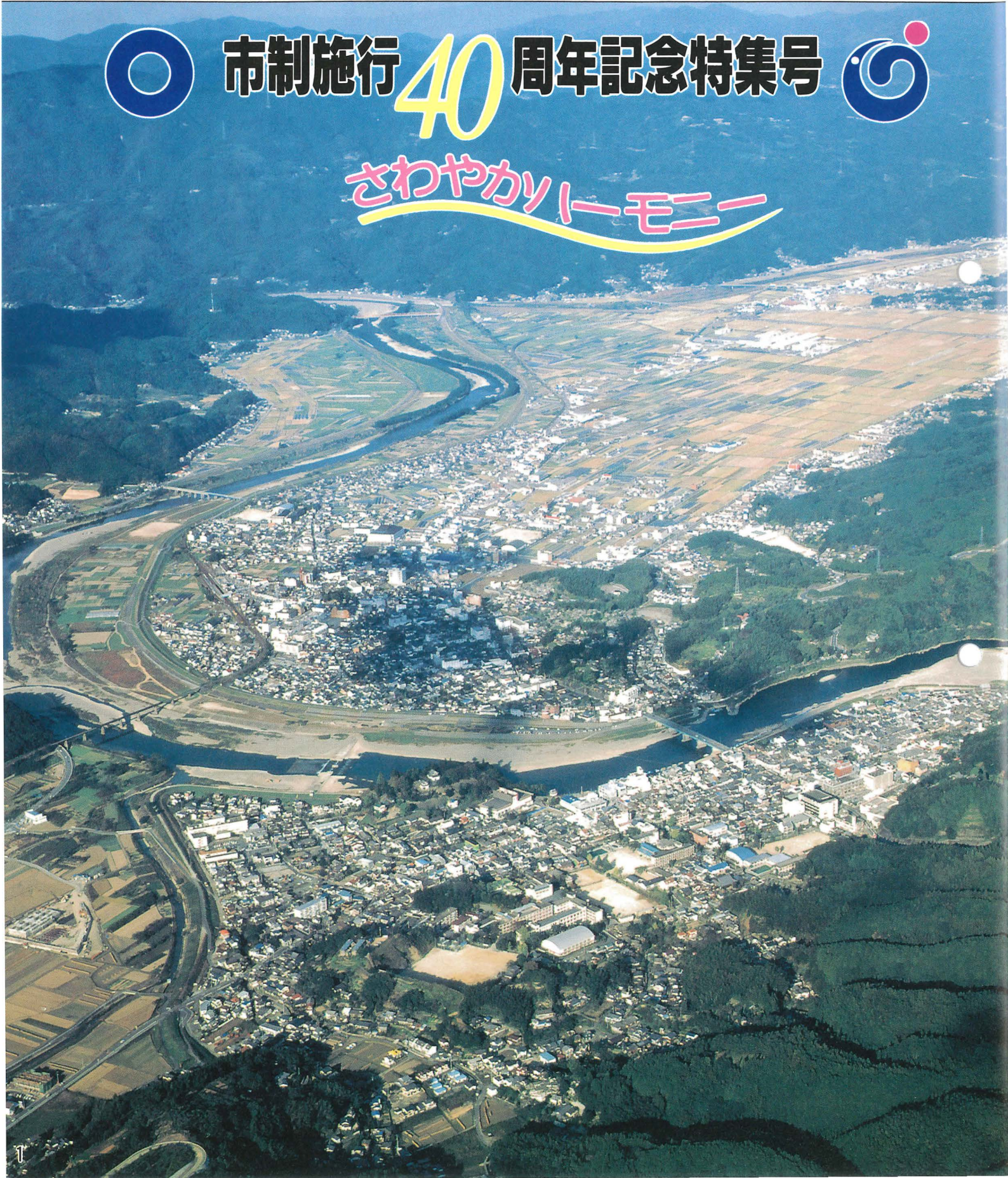
〒795 大洲市大洲690-1 ☎24-2111



## 市制施行40周年記念特集号



さわやかリバーモニー





大洲市長

梶田 與一

# 大洲市制施行 40周年を迎えて

大洲市議会議長

久保 幸一



大洲市が誕生した昭和二十九年は、戦後の動乱期を乗り越え、日本中が新たな社会基盤の確立に向けて奔走した時代でした。以来四十年、大洲市は幾多の厳しい局面に直面しながらも、市議会をはじめ歴代理事者、職員、そして市民の知恵と情熱を一つにして努力を重ね、今日の都市像を形造ってきました。

そして今、二十一世紀という新しい時代の到来を前に、より魅力的で豊かな大洲のまちづくりについて、改めて考え直す時期がやってきました。高齢化の進行の問題から、来るべき高速交通時代への対応の問題まで、全てをプラス材料として取り込

昭和二十九年九月に大洲市が発足いたしましたから、ここに四十周年を迎えました。

発足当初の困難な時代をはじめ、四十年の歩みは、苦難の道のりでもありますが、それを乗り越えて、今日の発展を見るに至りましたことは、まさに感慨ひとしおのものを覚えるのでございます。

これもひとえに先輩諸賢のひたむきなご努力と、市民の皆様方の英知の結集によるものであり、ここに深く敬意と感謝を申し上げます。

私はこの大洲市の歴史の一ページを飾る記念すべき四十周年を、市民の皆様とともに喜び、かつ次なる五十周年に向かって

めるような施策展開が求められており、市といたしましても、最大限の努力をほらい最大の効果をあげていきたいと考えています。

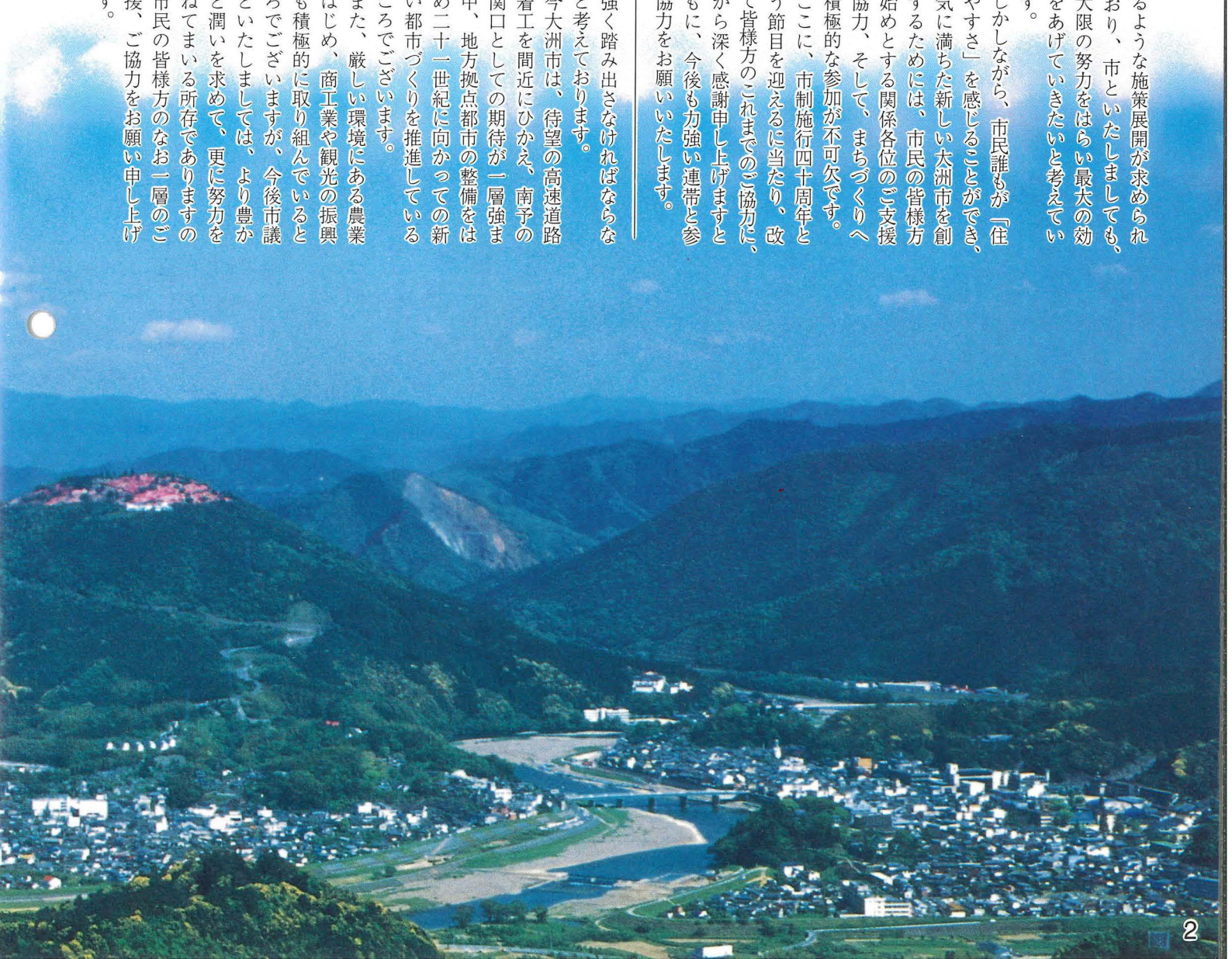
しかしながら、市民誰もが「住みやすさ」を感じることができ、活気に満ちた新しい大洲市を創造するためには、市民の皆様方を始めとする関係各位のご支援ご協力、そして、まちづくりへの積極的な参加が不可欠です。

ここに、市制施行四十周年という節目を迎えるに当たり、改めて皆様方のこれまでのご協力に、心から深く感謝申し上げますとともに、今後とも力強い連帯と参加協力をお願いいたします。

力強く踏み出さなければならぬと考えております。

今大洲市は、待望の高速道路の着工を間近にひかえ、南予の玄関口としての期待が一層強まる中、地方拠点都市の整備をはじめ二十一世紀に向かっての新しい都市づくりを推進しているところでございます。

また、厳しい環境にある農業をはじめ、商工業や観光の振興にも積極的に取り組んでいるところでございますが、今後市議会といたしましては、より豊かさ、潤いを求めて、更に努力を重ねてまいりますので市民の皆様方のなお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



活力のある住みよい都市「おおず」をイメージしたシンボルマークを、昨年11月に募集しました。381点の応募の中から、山形市の遠藤克也さんの作品を採用し、一部修正を加え、今年制定しました。

## シンボルマーク



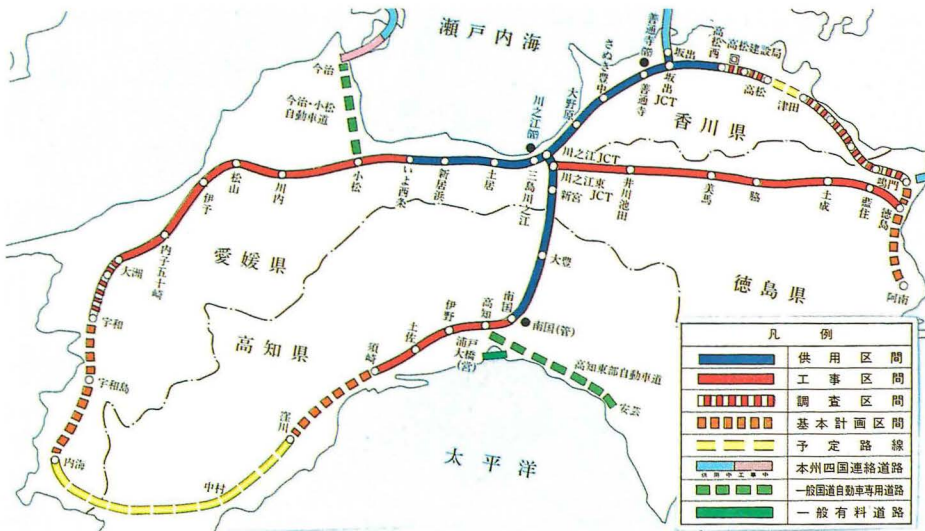
## 市章

大洲市では、大洲藩主加藤家の家紋「蛇の目」を一部修正し、職員の記章として昭和30年より使用していました。今年、市制施行40周年を記念して、この「蛇の目」を大洲市章として条例で制定しました。

# 夢をかなえる ハイウェイ

日本道路公団

四国的高速道路



JH日本道路公団が建設を進めている高速道路のうち四国縦貫自動車道は、徳島市から大洲市にかけて瀬戸内海地域を結ぶ延長二二三kmの主要幹線であり、本四架橋と相まって本州との一体化を計り、瀬戸内海工業地帯の産業経済の発展に重要な役割を果たすものです。

また、四国横断自動車道は、阿南市から高松市、高知市、須崎市を経て大洲市に至り、瀬戸内海側と太平洋側を結ぶ四六二kmの主要幹線であり、太平洋側の産業経済の発展に重要な役割を果たすものです。

## 道路と地域社会

道路は人や物の地域間交流を促し、経済、社会、文化の各方面にさまざまな効果をもたらしています。高速道路の効果は、お客様が直接受ける効果と沿線地域が受ける効果と大きく二つに分類できます。

【道路を利用されるお客様が直接受ける効果】

高速道路は他の道路と平面交差したり、人が道路上を横断するということのような心配がないので安全に高速走行ができます。そのため時間の短縮、燃料、油費、タイヤの償却費の節約が可能になり、しかも運転手の疲労が軽減できるといった効果があります。また高速道路は路面が整備され、カーブも緩やかなことなどから安全走行ができ、荷痛みが減少するとともに梱包費も節約することができます。特に生鮮食料品や精密機械等の輸送には高速道路はなくてはならないものになっています。

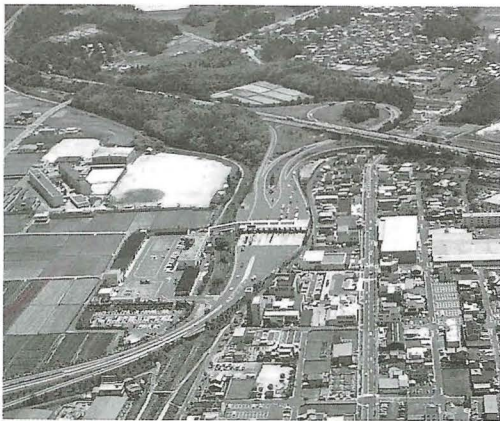
【高速道路の沿線地域が受ける効果】

高速道路ができることにより、インターチェンジの周りに工場などが誘致されたり、流通セン



ためのトラックターミナルなどが建設されることになり、それに伴ってその地域の就業人口が増加し、経済活動が急速に活発化することになります。また、高速道路を使って消費地に新鮮な野菜や魚をその日のうちに送ることができ、生産収入も大幅にアップすることが可能です。

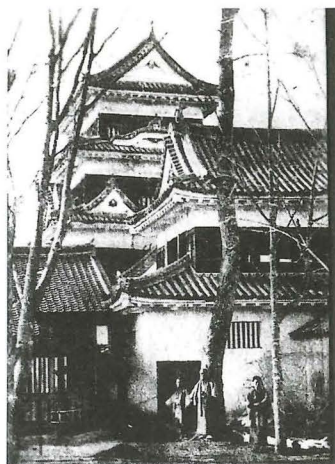
写真右 完成前のインターチェンジ  
写真左 現在のインターチェンジ



その他、人の行動については、  
一、他の地域からの人が来やすくなって地元産業、観光が活発になる。  
二、自宅から都市や地方へ日帰りで買い物やレジャーが楽しめる。  
三、住みなれた土地から離れなくても仕事につける。

ターが建設されたりして経済活動が活発になり、地域の発展が促されるとともに、地方公共団体の税収も豊かになります。例えば、インターチェンジ周辺の各地の工場で作られた部品などを集めて製品として組み立てて出荷できるような工場ができると、そこには倉庫や輸送の

# 大洲城天守閣の 再建をめざして



## 大洲城について

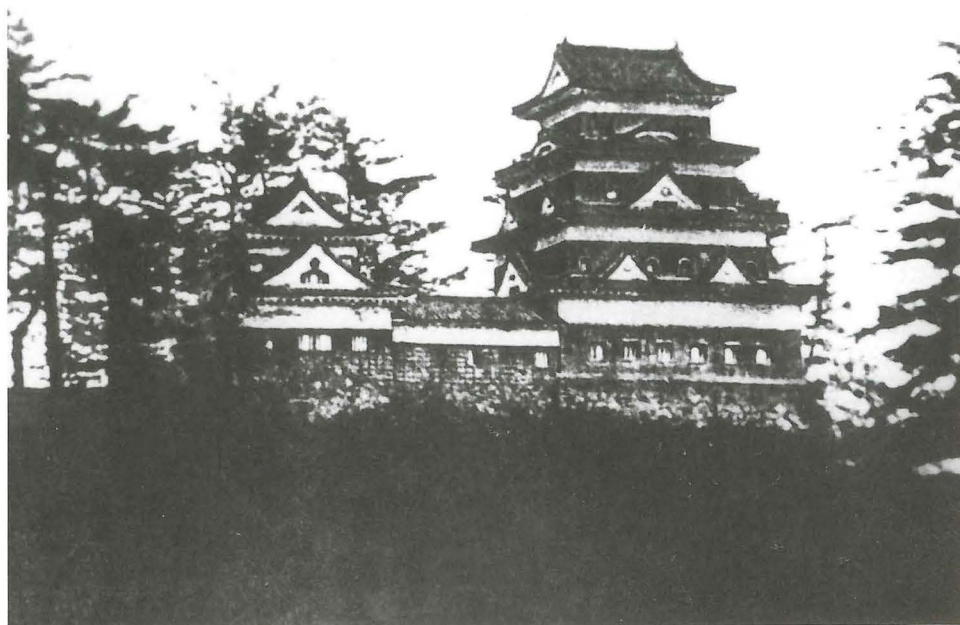
大洲城は、曲流する肱川の西岸にある標高23mの小丘を中心に築造された平山城で、古くは地蔵嶽城、亀ヶ岡城、大津城などと呼ばれていた。

元弘年間（1331～34）以来、宇都宮氏8代の拠点となり、その後戸田、池田、藤堂、脇坂、加藤の諸氏が城主となった。現在に連なる近世城郭として大津城が建造、整備されたのは、藤堂、脇坂両氏が城主であった慶長年間（1596～1615）とみられている。大津を改め大洲としたのは万治元年（1658）加藤泰興の頃とみられている。

元和3年（1617）、加藤貞泰が大津6万石の領主として入城し、以後廃藩まで加藤氏13代の居城となった。

城は丘陵の平坦部を本丸とし、下段を二の丸として、東に肱川、北に久米川、西と南は内堀をめぐらしている。その外側が三の丸で、周囲には外堀をめぐらしている。四重四層の天守閣（明治初年に解体）のほかに18の櫓があった。

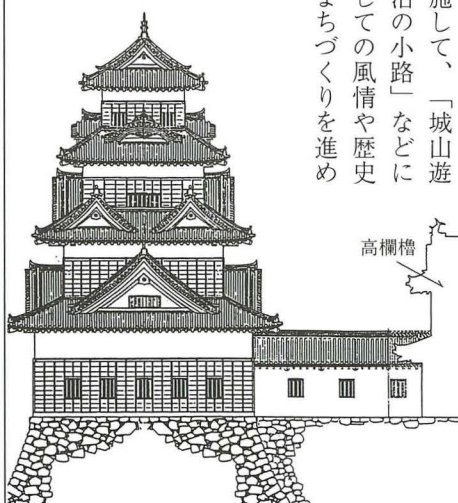
現在、城跡には本丸を中心とする石垣と四つの櫓（台所櫓、高欄櫓、南隅櫓、宇綿櫓：いずれも重要文化財に指定）、内堀の一部が遺構として残っている。（本丸と二の丸の一部は愛媛県指定の史跡になっている。）



## 城下町の天守閣

大洲市では、本年六月定例市議会に、大洲城天守閣再建基金条例案を提出し、議決されました。これは、市民の皆さんから要望の強い天守閣再建を行うための第一歩として、再建にあてるための寄付金や募金の受け皿となるものです。

今後、市では再建をするための検討委員会を設け検討していくこととなります。



▲昭和61年大洲市まちづくり委員会  
大洲城天守閣復元専門部会が作成  
した天守閣復元図（西側立面図）

できました。また、肱川橋から大洲城跡にかけての約三百メートルの堤防を城壁風の白壁に修景しています。これらは、大洲の城下町としてのイメージを生かしたまちづくりのひとつです。

この最大の目標が天守閣の再建にあると考える市民の皆さんも多いようです。城下町だからこそ天守閣の再建を……！

この天守閣再建構想は、市民の皆さんの大きな夢であり、今こそその気運を高めていく時ではないでしょうか。

# 大洲市制40年間の軌跡



おおず



▲旧市庁舎



▲市制施行30周年、昭和59年に完成した市庁舎



▲昭和37年頃の国道56号線  
(若宮付近)



▲昭和41年、「おはなはん」  
ロケ中の1コマ

完成  
10月1日 第4回大洲市議会議員選挙  
12月27日 大洲市森林組合併発足

### 昭和42年（1967）

4月30日 大洲市農協青果市場完成  
5月24日 大洲児童館開館  
5月30日 社会福祉法人大洲幸楽園完成  
7月31日 市道出石寺線完成  
8月30日 城山下の「床止めせき」完成

### 昭和43年（1968）

3月3日 富士山に「世界樹木園」  
3月30日 大洲隧道完成  
4月1日 大洲市総合開発計画策定  
10月31日 市民会館完成

### 昭和44年（1969）

1月25日 第5代市長に村上清吉氏（無投票当選）  
3月20日 大洲肱川伝染病隔離病舎完成  
4月1日 喜多山小を新谷小学校に、南久米中を大洲南中学校に統合  
11月25日 国道夜昼トンネル貫通

### 昭和45年（1970）

4月1日 徳森工場団地、一部操業開始  
7月8日 大洲市立図書館開館  
8月27日 八幡浜大洲地区広域市町村圏協議会結成  
9月26日 第5回大洲市議会議員選挙  
10月19日 鳥坂トンネル開通  
11月2日 大洲城高欄柵・台所柵修復工事完成

### 昭和46年（1971）

2月23日 名誉市民加藤泰通氏（91歳）没  
3月1日 八幡浜市大洲地区総合運動公園事業開始  
3月31日 大洲平野（東大洲）区画整理事業完成  
4月16日 夜昼トンネル開通  
5月27日 じんかい焼却場完成  
9月25日 教育文化都市を宣言

### 昭和47年（1972）

4月1日 上須戒中を大洲北中学

5月20日 大洲学園新築落成  
10月20日 国鉄春賀、西大洲簡易駅開設

### 昭和37年（1962）

3月24日 NHK大洲ラジオ中継所落成  
4月1日 三善中、粟津中統合、大洲東中学校となる  
4月13日 大洲保育所落成  
9月20日 市長選挙、第3代市長に森永富茂氏当選  
10月2日 第3回大洲市議会議員選挙  
10月7日 電話自動化される

### 昭和38年（1963）

1月1日 加藤泰通氏に名誉市民の称号贈呈  
4月15日 帝京第五高等学校創設開校  
4月20日 健康都市宣言市民大会  
7月3日 武陵鉱泉ボーリング起工式  
11月3日 第1回大洲市スポーツ祭  
12月25日 NHK大洲テレビ中継局開局

### 昭和39年（1964）

4月16日 市立大洲病院落成  
4月20日 学校給食センター落成  
5月25日 し尿処理場「清流園」落成  
10月1日 南海放送大洲テレビ中継局開局  
10月5日 市制施行10周年記念祝典  
12月10日 峠橋、慶雲寺橋完成

### 昭和40年（1965）

1月1日 植木秀幹氏に名誉市民の称号贈呈  
1月19日 故森永富茂市長の市葬  
2月13日 第4代市長に村上清吉氏当選  
3月18日 愛媛県大洲庁舎落成  
3月31日 大洲市農協発足  
4月1日 大洲市消防署発足  
10月30日 南隅柵解体修復工事完成

### 昭和41年（1966）

3月10日 NHKテレビ小説「おはなはん」ロケ  
5月15日 愛媛帝京短期大学開校  
6月4日 大洲市観光開発協会を設立  
7月29日 神山謙鏡氏に名誉市民の称号贈呈  
国民宿舎「大洲臥龍苑」

### 昭和29年（1954）

9月1日 大洲市誕生（市制施行）  
大洲市教育委員会発足  
9月22日 第1回大洲市農業委員会選挙  
10月1日 初代市長に沼田恒夫氏当選  
10月5日 第1回市議会議員選挙  
12月14日 蔵川小学校校舎改築  
12月20日 新谷地区、部落電話開通

### 昭和30年（1955）

2月6日 三善小学校新築  
3月29日 南久米小学校校舎改築  
4月15日 じんかい焼却場新築  
5月3日 新谷公民館新築  
新谷中学校校舎完成  
11月3日 第1回市民親善体育大会

### 昭和31年（1956）

4月30日 広報おおず第1号発行  
5月31日 大洲市が地方財政再建整備団体の適用を受ける  
7月19日 第1回各地区巡回市政懇談会  
11月3日 城山のミュージックサイレン開始（曲：“鐘”）

### 昭和32年（1957）

2月20日 田処～大洲間に直通バス  
6月1日 うかがい開始される  
12月15日 大洲、八多喜間即時通話開始

### 昭和33年（1958）

4月21日 中江藤樹生誕350年記念式典  
7月11日 喜多小学校校舎落成（大洲市初の鉄筋コンクリート建物）  
8月1日 鳥坂、正信地区分離（宇和町編入）  
9月6日 上水道通水式  
9月28日 大洲市長選挙、無投票で沼田恒夫氏再選  
10月2日 第2回大洲市議会議員選挙  
12月10日 父橋（菅田）開通

### 昭和34年（1959）

3月20日 平和都市宣言を議決  
5月15日 大洲市上水道完成  
9月18日 大洲市商工会館、改造落成  
10月22日 重要文化財、大洲城芋綿柵解体修理落成

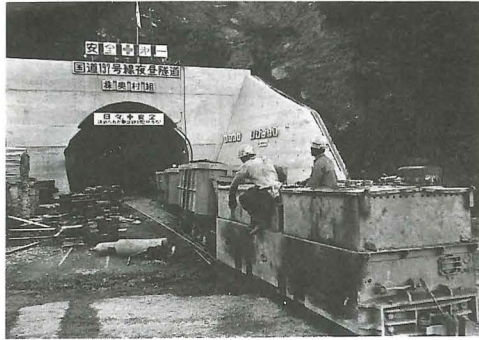
### 昭和35年（1960）

1月16日 鹿野川ダム完成  
2月10日 新谷に製茶工場開設  
4月1日 各支所を廃止、連絡所を設置  
5月27日 大洲南、北中学校建設落成  
12月1日 大洲市立病院発足  
12月18日 大洲市庁舎増築工事落成

### 昭和36年（1961）

4月1日 赤字団体から自主団体へ  
4月29日 肱川橋改装工事完工  
5月1日 富士山ドライブウエー、展望台完成

<b>昭和63年（1988）</b>	
3月30日	平野公民館落成式
4月30日	大成橋歩道橋完成
8月6日	農産物加工場完工式
10月19日	国営総合農地開発事業完工式
12月4日	総合体育館落成式
<b>平成元年（1989）</b>	
1月21日	大洲市長選挙、市議補欠選挙（第10代市長に榊田與一氏が当選）
8月18日	第20回全国藤樹学会研修会開催
9月1日	市役所電算化業務本格稼働 福祉バス運行開始
9月6日	逆磐橋（架替工事）完工式
10月29日	全国カヌーツーリング駅伝大会
<b>平成2年（1990）</b>	
3月11日	姜沆顕彰除幕式
7月1日	大洲市農業集落排水供用開始
7月27日	大洲家族旅行村オートキャンプ場オープン
9月29日	第10回大洲市議会議員選挙
10月23日	国民文化祭アマチュアミュージックフェスティバル
12月6日	四国縦貫自動車道伊予一大洲間に施工命令
<b>平成3年（1991）</b>	
3月25日	大洲市・長浜町環境センター落成
4月1日	柳沢中を新谷中学校に、蔵川中を脇東中学校に統合
5月2日	おおざ赤煉瓦館落成
8月21日	大洲家族旅行村全村オープン
<b>平成4年（1992）</b>	
3月19日	一般国道56号大洲道路部分開通（大洲南IC～大洲富士IC間）
3月27日	菅田公民館落成式
4月17日	南久米小学校落成式
4月21日	四国縦貫自動車道伊予一大洲間中心杭打ち式
5月10日	徳森公園落成式
10月22日	大洲市脇南浄化センター起工
<b>平成5年（1993）</b>	
2月13日	第11代市長に榊田與一氏が無投票当選
2月18日	八幡浜・大洲地方拠点都市地域指定
3月25日	一般国道56号大洲道路全線開通
4月17日	田舎遺跡現地説明会開催
6月1日	大洲停車場南線（ふれあい南通り）開通式
7月1日	大洲市ミニシルバー人材センター設立
7月8日	八幡浜・大洲地方拠点都市地域基本計画承認
8月11日	市立大洲病院移転改築工事起工
9月9日	一般県道坊屋敷小田線、坊屋敷橋完成
10月17日	大洲ショッピングセンター（仮称）起工
11月19日	四国横断自動車道宇和一大洲間に施工命令
11月29日	大洲地域大学等高等教育機関設置推進セミナー

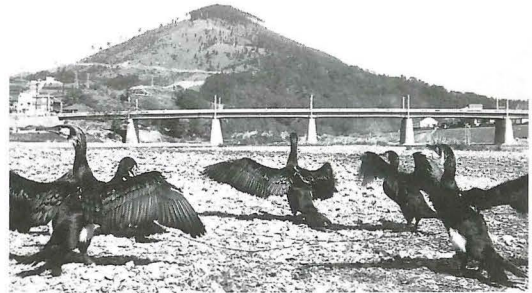


▲昭和44年、夜昼トンネルが貫通しました



▲昭和36年に改装された脇川橋

- 2月1日 大洲市農地銀行開設
- 3月8日 広域農道（西大洲～蔵川）  
荒間地トンネル開通
- 4月1日 運動公園勤労者体育センター完成
- 7月1日 農村定住促進センター完成
- 7月8日 大洲市を考える百人委員会発足
- 9月6日 市役所、市民会館に仮移転
- 10月2日 第8回大洲市議会議員選挙



▲昭和32年、水郷大洲にうかがいが始まりました

- 昭和58年（1983）**
- 3月13日 脇東中学校校舎完成
  - 3月22日 新谷小学校校舎完成
  - 3月24日 柳沢公民館完成
  - 7月3日 運動公園流水プール、スライダープール完成
  - 11月15日 国道441号白髭トンネル開通

- 昭和59年（1984）**
- 1月20日 大洲市を考える百人委員会の提言報告
  - 2月12日 第1回大洲市健康マラソン
  - 4月16日 市役所新庁舎完成
  - 5月19日 まちづくり委員会発足
  - 9月1日 市制施行30周年記念式典

- 昭和60年（1985）**
- 1月26日 第9代市長に近田宣秋氏が無投票当選、市議補欠選挙
  - 3月12日 久米小学校完成
  - 4月24日 大洲学園落成（富士山から市木へ新築移転）
  - 8月17日 大洲神伝流保存会発足

- 昭和61年（1986）**
- 1月21日 柳沢診療所再開
  - 3月3日 予讃本線（中山・内子ルート）営業開始
  - 3月25日 大洲市林業総合センター落成
  - 5月24日 うかい30周年記念ミス大洲コンテスト
  - 9月27日 第9回大洲市議会議員選挙
  - 10月16日 大洲市の人口が18年ぶりに4万人到達
  - 12月7日 脇川流域シンポジウム開催

- 昭和62年（1987）**
- 2月4日 春賀トンネル貫通
  - 4月24日 新富士橋完成  
大洲ワイン誕生
  - 10月31日 藤樹まつり記念式典
  - 11月10日 グリーンピアシンポジウム
  - 11月14日 大洲市総合体育館起工式

- 8月25日 新谷中学校に夜間照明（大洲市で最初）
- 10月6日 大洲市、地方自治30周年記念自治大臣表彰に輝く
- 12月1日 社会教育センター開所

- 昭和53年（1978）**
- 3月25日 三善公民館落成
  - 4月1日 徳森保育所開所
  - 5月11日 保健センター、老人福祉センター落成
  - 6月13日 大洲上水道小倉水源給水開始
  - 8月31日 県営富士山農地開発事業完成
  - 9月30日 第7回大洲市議会議員選挙

- 昭和54年（1979）**
- 3月31日 八幡浜・大洲地区総合運動公園完成
  - 7月1日 大洲西バイパス着工
  - 12月20日 臥龍山荘整備完成

- 昭和55年（1980）**
- 2月29日 上須戒・粟津小学校校舎改築完工
  - 3月26日 伊予蚕糸工場完成
  - 3月31日 大洲バイパスルート決定
  - 4月1日 臥龍山荘一般公開開始
  - 4月7日 大川公民館落成
  - 4月17日 農村環境改善センター落成
  - 6月9日 脇川をきれいにする協議会結成

- 昭和56年（1981）**
- 1月24日 第8代市長に近田宣秋氏が無投票当選
  - 3月27日 水道管理棟完成
  - 3月31日 富士山公園登山道二車線に改修、広域農道（西大洲～上須戒）完成
  - 4月22日 南久米公民館落成
  - 5月2日 大洲隣保館完成
  - 7月25日 運動公園水泳プールオープン

- 昭和57年（1982）**

- 校に統合
- 11月1日 大洲ばやし発表大会
- 11月15日 大洲北中学校校舎完成
- 12月22日 大洲市誌発行

- 昭和48年（1973）**
- 1月20日 第6代市長に村上清吉氏当選
  - 4月1日 学校給食センター開所
  - 4月23日 大成橋開通
  - 5月6日 名誉市民神山謙氏（84歳）没
  - 6月7日 養護老人ホーム「清和園」開所
  - 7月11日 大洲少年自然の家開所

- 昭和49年（1974）**
- 4月10日 脇南保育所開所
  - 5月23日 中央公民館・勤労青少年ホーム開所
  - 8月31日 市制施行20周年記念祝典市の花木につし制定
  - 9月28日 第6回大洲市議会議員選挙
  - 10月20日 国立大洲青年の家開所

- 昭和50年（1975）**
- 3月 末 脇川緑地公園一部完成
  - 4月1日 大洲地区広域消防事務組合業務開始
  - 6月2日 脇北保育所開所
  - 6月7日 喜多小学校水泳プール、体育館完成

- 昭和51年（1976）**
- 1月12日 名誉市民植木秀幹氏（92歳）没
  - 5月18日 上須戒診療所落成
  - 10月2日 大洲市総合計画基本構想策定
  - 10月7日 平小学校校舎、体育館落成
  - 10月27日 国営パイロット事業着工（大洲喜多地区国営総合農地開発事業）

- 昭和52年（1977）**
- 2月13日 第7代市長に近田宣秋氏就任

